

学長挨拶

本学の「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」事業は、平成 20 年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」に採択され、今年度で終了いたします。3 年間にわたり、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを中心に、女性研究者支援策を積極的に展開し、女性教員や研究者を増やすとともに、女性がリーダーとして活躍できる男女共同参画支援モデルの開発を行ってきました。

本学は、平成 12 年の国立大学協会による「国立大学における男女共同参画の推進」の方針のもとに、いち早く平成 13 年度から男女共同参画推進委員会を設置し、様々な女性支援策に取り組んできました。本事業採択後は、特に「男女が働きやすい職場環境の実現」、「金沢大学人材バンクを始めとする情報発信および情報交換の場の提供」、「多様なキャリアパスの創出」、「講演会やイベントなどの広報・啓発活動」を柱として具体的な支援策を積極的に展開してきました。最終年度である今年度は、第 3 回金沢大学女性研究者支援シンポジウム「多様な人材を活かす大学へ～女性研究者養成のこれから～」を開催し、新たに注目を集めている宇宙の分野等から、女性研究者の活躍のために必要な環境整備とその意義、金沢大学の男女共同参画の現状について考える機会を持ちました。

3 年間にわたる取り組みの成果として、平成 19 年度には 14.4%であった本学の女性教員や研究者の割合が、現在では目標値の 16%を超え、18.2%まで上昇しました。

大学における教育や研究の活性化のためには、多様な人材の参画は言うまでもありません。性別や国籍、年齢など様々な人々が存在する環境からは、豊かな創造性が生まれ、より質の高い発想が湧いてきます。大学の女性教員や研究者が能力を発揮できる環境を整えていくことは重要な課題であると認識しています。本事業終了後も引き続き、全学の男女共同参画を推進し、「男女がともに輝ける大学」を目指してまいります。

3 年間にわたり学内をはじめ学外からの皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

金沢大学長
中村 信一